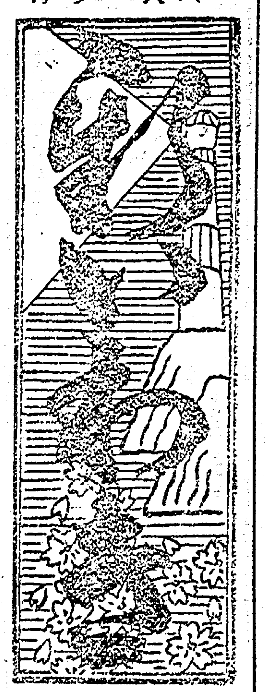
十月八日 夕刊



日刊(但シ日曜祭日翌日休刊) 一ヶ月廿五錢 郵税十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢 場所指定 二十錢増
發行兼編輯印刷人 中谷政治
發行所 磐城國平町大町二三 いわき新聞社

縣清酒十三回品評會 集まる優良酒五百點

優勝旗獲得を目指す石城當業 來る十一日から六日間

平市に開催される來る十一日から六日間の縣酒造聯合會主催第十三回縣清酒品評會は前回の終了直後既に決定のもので其のため各當業が出品酒を志し殊に地元石城の各酒造家は吟醸精進に異常な馬力をかけ郡下卅五戸一万六千石の醸造に組合員の約三分一は諸機械からタンクの設備を改め昨年の仕込み期に備前米六〇噸の外山形縣の原產を會津に移植改良したる特殊米「京の華」等の高價米を購入し優勝旗獲得を目指す努力は本年二月末の皆造に絞りを終つて最後の査定を受けた出來榮えに見事なものが多く待ちに待たれた同品評會が事變關係で躊躇されたのであつたが愈よ開催に決した當業の悦びと出品精進の意氣は戰線勇士のそれに劣らぬ突進を以て優位獲得に大童となつてゐるが昨年の仕込み期は例年より寒さが強く酒造陽氣とも云ふべき自然にも恵まれたので普通酒の出來も一般に良好であり從つて格段の力を入れた吟醸には逸品が多からうと云はれてゐる尚ほ今回の出品は全縣下から五百點の見込みであると

此の吟醸精進に地酒感を棄てよ

石城酒造組合の画期的向上 一齊に量より質への努力

縣清酒品評に石城酒造組合の曾てない精進は生產統制を施かれて與へられたる制限石數の範圍內に於て業成績を上ぐるには結局良酒を醸るより他に途がなくなつた爲もあり昨年の仕込みに買入れた特殊米の如きは地元米に比して一石に付十圓前後の高値であるが所記の仕込み高は濃淳酒を得ることによつて採算が立つ譯で一般酒造家の目標は量より質へ向くことになつた此の貴期的な造酒の向上には需要家側にありても從來の地酒と稱する先入的な蔑視感をすてゝ嗜好玩味さるべきであらうと

慰靈と祈願祭

小名濱では來る十一日午前九時から宮ケ浦町公園內の忠魂碑前に於て戰歿將士の慰靈祭を執行午後一時から諏訪神社で出征兵の武運長久祈願祭を行ふと

常識講座

ダイヴは水泳で水を潜ること、飛込の技術、潜水夫を呼んでダイヴアーと云ふ、ダイヴィングは曲跳ねとか跳込みのこと其の意から相場の急降下をダイヴィング的値下などゝ云ふ

縣藥業協會の定時總會 來月平市公會堂で

縣藥業協會の定時總會は來る十一月七日午後一時から平市公會堂に於て開催されるが同會には菅柳警察部長、新任大須賀衛生課長臨席、會員二百四十名の出席で左記の諸件を附議決定の筈だが當日石城部會では午前九時から部會の總會を開催すると

▲十一年度決算 十三年度豫算 役員選擧 國民健康保險 國民處方普法促進 次年度總會開催地決定等

六十個所の災害に復舊費約十八萬圓

査定は今十月末頃らし

平土木監督所管內に於ける去る六月末と九月一日二回の出水災害は洪潮で大きいものが小名濱商港の岸壁埋立の復舊費約四萬圓の河川では滅茶々々にやられた蛭田川及び夏井川、仁井田川に數多く鮫川筋は割合に少ないまた道路では山手方面地の土砂崩壞、土留崩れ其の他橋梁は比較的少なかつたが約六十個所で復舊總額十八萬圓と云はれてゐる右に對する査定は今十月末頃行はれる模様であると

都市對抗の小選手出發 今日平から卅三名

平市の各小學校は明九日郡山市に開催される縣下六大都市小學兒童体育競技に出場選手の猛練習中であつたが今八日午前十一時右選手卅三名は各校生徒に送られて平驛を出發した

戰地の便 各所の抗日の落書 親日の文字に變る

(下) 石城郡江名町出身 高子與三郎

且つ是れまで敵共匪軍により人民の軒下土塀などに大々的に朱書せられありし抗日文字の落書「打倒日本失地回復鐵血抗戰、抗日焦志抵抗、人民一齊武裝起來」等も何時しか「抗日亡國親日興國、同種同族共存同榮中日相提携東亞和平礎」等と親日文字も鼎鮮かに書かへられて漸次親日に傾きつゝあり我部隊は降雨泥濘を侵して引續き共匪しん動する未踏の奥地山岳迄も討伐に進出し膺懲の師を緩めず傍ら守備に宣撫に努めて部隊山西省北支の建設に全力を盡して邁進して居ります次に北支は七月の候は降雨期にて降つても〳〵降り息まず每日の降續きにて道路は泥濘膝を沒する文字以上の悪路なるも數日前より雨止みて炎天續きとなり日中は百四十度の高温にして且つ支那特有の蠅と蚊、南京虫の襲來には何れも閉口致して居りますが意氣は益々燃え事變の前途遼遠なるを認識、東洋永遠和平の礎確立する迄は斷じて鉾を緩めず頑張り通す覺悟です、幸ひ一觸即發の噴火山上に在りしソ聯張鼓峰越境事件も去る十二日吉田少佐とソ聯極東軍司令官の協議の結果停戰協定となり列國は日本軍の底知れざる勇猛果敢さに再認識すると共にソ聯も到底敵はずと悟つた様であります、今後の蔣政權崩壞にも拍車を掛けるものと存じます、而して漢口の陥落も時間の問題と云ふことになりました、先は亂筆にて近況申上げます、尚ほ書き度こともありますが當地は不便地それ故便箋も二枚までと制限されて居りますので失禮致します、終りに

皆々様の御健勝を陣中より御祈り申上げます

簡易保險【八】

國民貯蓄戰線に活躍する

報國運動と劃期的制度の改正

保險年金報國運動

國民生活の安定といふことは戰時は勿論戰後の經營に當つても特に緊要である。遞信省が國策に協力するため今春簡易保險及郵便年金報國運動を起して全國的に呼びかけた所各方面から多大の共鳴を得、成果を擧げたことは國民大衆の時局に對する強い認識が反映したものと言つてよい。

この報國運動はさきに遞信省が內閣情報部、內務、文部商工、農林其他の關係各省及國民精神總動員中央聯盟諸團體と提携し更に地方的には市町村其他の諸團体と密接なる連携を保ち映畫、講演會及地方有力者との座談會等の開催其他各種の施設を行ひ異狀なる成績を收めて來た。今次更に第二次の報國運動を起すことゝなつたが前回以上の支持と協力が期待される。

國民大衆が本運動を通じて公私經濟の充實と强化に努めることは究極に於て帝國の光榮を高揚することであり又次代國民に對する吾々の崇高なる義務の一端を果すこととゝなるのである。【以上】

銃後會へ十圓

平商業校の寄附

平商業學校職員生徒一同は銃後強化週間に於て金十圓を醵金し今八日市の軍事後援會に寄附した

平署で墓參と慰問

平署では銃後々援強調週間期間中の昨七日署長及び兵事主任その他市內戰死者の墓參をなし遺家族の慰問をなした

郷里でやつた盗みが發覺

石城郡磐崎村の長倉炭礦坑夫山形縣最上郡西小國村生れ伊藤正雄(二六)は本年九月郷里へ歸つた同月二十一日隣村小國村の赤倉温泉料理店若松屋方で遊興し相手酌婦の熟睡を見て腕時計八型クローム時價十五圓を窃取せること新庄署に發覺平署に回牒されて檢擧昨七日取調べを受けた

湯本の二史蹟に對して 史家の態度を明にす

(特に湯本の正義町民に與ふ)

14 勿來學人

湯本驛に着いたのは午後二時頃で、先づ私に豫想せざる吃驚を喚起したのは、驛の內外が特に青年團、在郷軍人會、愛國婦人會、乃至は小學校生徒は勿論のこと全町民を擧げての熱狂的歡迎ではないか、瞬間、私の意外に感じたのは同町出身の比佐再任參與官の郷土入の祝賀の爲か、或は偉大なる吉野忠蹟を有つ郷土光輝の爲の之が旌表關係か、將又俗なる政黨と昌平氏との政略に據るものか、とにかく其の時の光景は郷土文化てふ認識とは大いに異つた或る群集の奇景を作爲し、徒らに私の有つ郷土文明の意識對象とは根民から隔絶したのに氣附き且つは咄嗟に不思議の感を湧發せしめられざるを得なかつた。

そこに於てか、私は年來の懐く「郷土の問題は古くして永遠に新し！」と心につぶやいて、乃ち其の町民が自己の郷土の誇りたる三箱城址の爲か、宮の御參蹟の爲か、將又個人比佐氏の任官祝の爲か、私にとつては一時その分知に迷ふほどの全民が其の地有史以來の熱狂的歡迎ぶりに逢着したと云つてもよい位であつた。

雲州神國印ソロバン
優勝印高級ソロバン
ミく印高級ソロバン
ウエル萬年筆
ライトインキ
ムツソリニペン
玉泉堂の書道筆
古梅園の書道墨
代理店 魁文堂 電話三一三

女給會の奉仕

小名濱町西洋料理業の女給聯盟婦風會は此の程組成されたが同會は日曜每に裁縫及び活花等を學び奉仕事業として應召家族の洗濯及び縫ひをなす

平商運動會

平商業學校に於ける第三回陸上運動會は來る十三日午前九時から同校庭に開催されるが當日は小學校選手の六百米繼走もあるのでこの應援その他觀衆に賑ふだらう

二勇士の町葬

小名濱町では同町出身特務兵松崎重久君、輜重上等兵吉田榮治君の兩町葬を來る十三日午後一時同町小學校に於て執行すると

産業方面

國策に沿つて儲かるパルプ

（1）山林會が簡易工場の新設を斡旋

紙をはじめ人絹、人織などの木材繊經工業の躍進的發展に伴ひ原料パルプの需要が激增し一方では原料パルプの輸入制限の關係もあり昨今小規模のパルプ工場が各地に設立を見てゐるが大日本山林會ではさきに帝室林野局が保有する「簡易曹達パルプ製造法に關する特許權の實施許諾事務」を委任され獨得の方法により屑木、廢材、間伐材を利用しパルプ生産の斡旋につとめてゐる、この方法による經營の大要は次の如くである、

まづ經營の希望者は山林會（東京市赤坂區溜池一番地赤坂三會堂內）に對して特許實施許諾に關する申込みをすれば同會から諸規程が送られこれに從つて手續きをすればよいが同會としては申込み者に對しパルプ資源の如何、經營者の身元調査などを行ふことになつてゐる、

經費の大要は小屋掛一千三百圓◇動力裝置一千六百六十圓◇傳導裝置七百圓◇削片製作裝置一千百圓◇蒸煮裝置二千九百八十圓◇濃縮裝置一千四百五十圓◇水洗裝置五百圓◇精選裝置二千四百六十圓◇パルプ秤設備費百圓◇雜費五百圓、◇計一萬一千七百五十圓（本年三月の調査であるから現在は多少高騰してゐることを見込む）

而して今日までのところでは正確な收支計算を求め得る資料はないが山林會が一例としてあげてゐるものによれば概略一ヶ年のパルプ生産量は三十九トンで此の賣上げ一萬二千八百七十圓で生産費九千九百四十五圓を除けば僅に一ヶ年二千九百二十五圓の利益があるとされてゐる、

ツルヤ　電一四〇
豊富陳列　漸新型
つ立に線一第の會品冬＝勝戰軍皇
子帽折中　子帽供子

正確なる　体温計　寒暖計（各種）
計量器指定販賣
平市五丁目角
山野邊藥局

大河內
平市搔搥小路
整形外科醫院
電話五八八番

産科　婦人科　院長　木村寅次郎
外科　醫學博士　內木宗八
藥局　藥劑師　大岩俊雄
平市新川町九一
入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番

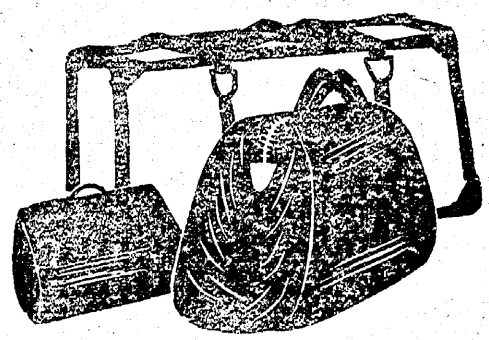
食事。喫茶。酒場を兼ねた。
レストラン
サロン
平田町　電三五二

デーリーサービス

日割	品目	定價	品目	定價
月	カツレツ	二〇	チキンライス	二五
火	ポークチヤツプ	二〇	カツ丼 親子丼	二〇 二〇
水	エビフライ	四〇	ハヤシライス	二〇
木	メンチボール	二〇	オムライス	二〇
金	コロツケ 鐵フライ	二〇 二五	ハムライス	二〇
土	ビーフテキ	四〇	カレーライス	一五
日	ランチA	四〇	以上の一割引にて差上ます	
〃	〃 B	六〇		
〃	〃 C	八〇		

特にマルトモのランチは…
材料のおまかせを願つて居る賃め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出來ますので御華客樣からいつも御好評を戴いて居ります
御來店御召上りの時も御來客樣用仕出し等總べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節〳〵の材料で美味快適なものを調理進上出來ますので之また非常に御好評で御座います
RESTAURANT MARUTOMO
平市停車場通　マルトモ食堂　電話一二三

病室增築、手術室完備
産科　婦人科　醫學博士　五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

カバン と 洋品類

（平市新道驛通前り）眞砂屋（電話六五）

債券　公債　両替　金融
多田井質店
平市大工町　電話五九一番

院醫沼藤
平市紺屋町　電五〇七

平病院（平市元共濟病院跡　電話六四一番）
院主　院長　醫學博士　鈴木定藏
內科　小兒科　院長　鈴木定藏
內臟外科　一般外科　皮膚泌尿器科　副院長　佐藤幾要司
レントゲン科　物理的療法科　部長　高橋俊幸
藥劑科　部長　鈴木定藏
診療時間　毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す（急患は此の限にあらず）

內科、小兒科　外科、花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科
平市田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

久
和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九〇九九

一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社